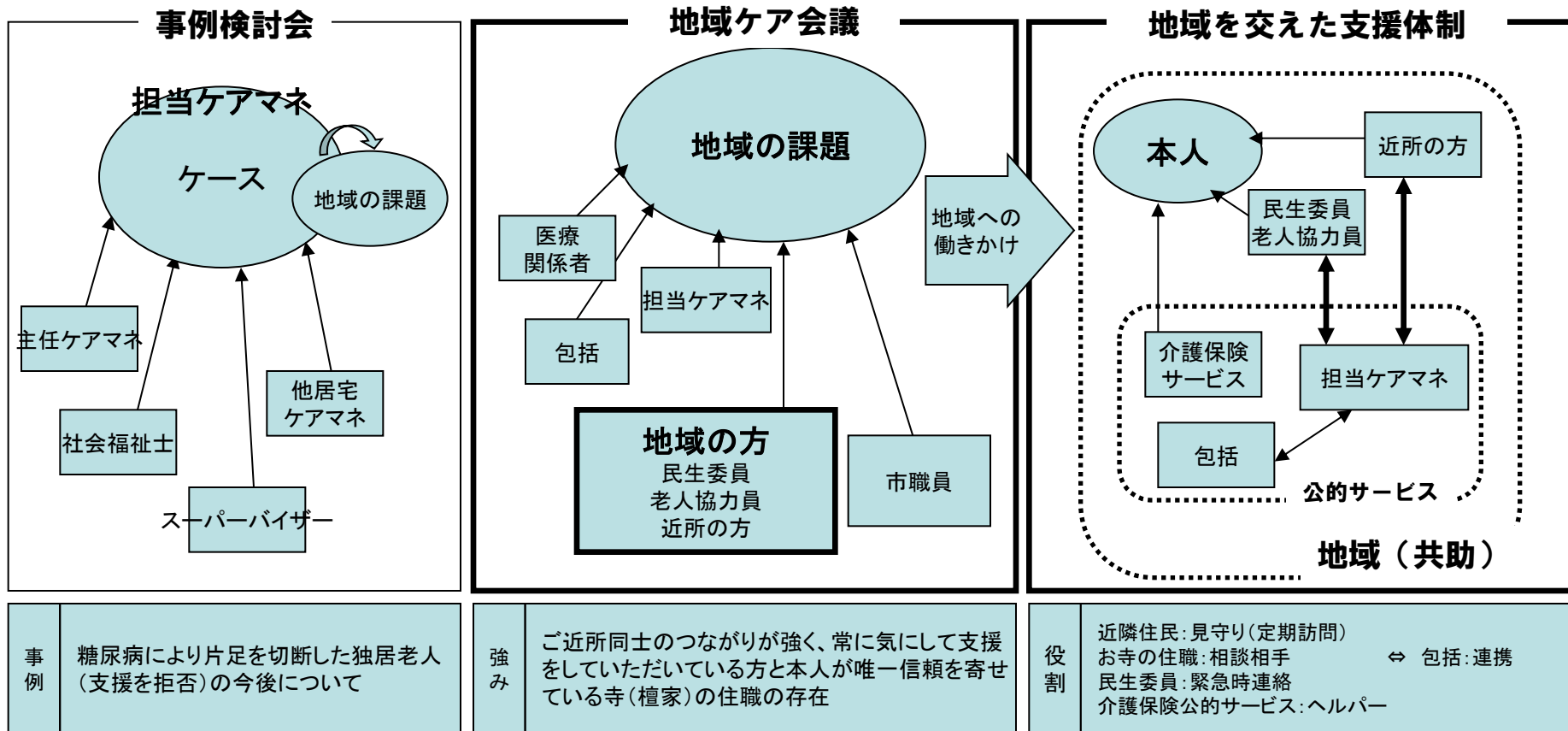


# 事例検討会から地域ケア会議へ(常滑市)

## 「地域の課題を皆で共有する」「地域のネットワークを構築する」

常滑市は65歳以上の高齢者13,782人(高齢化率24.2%)のうち、一人暮らし高齢者が1割超の1,543人と大変多く、これをどのように支援するかということが大きな課題となっている。

包括支援センターを中心として定期的に行っている事例検討会において抽出された課題から、地域ケア会議を開催した。個別のケース検討ではなく、地域ケア会議として開催することで、地域の方の参加を得られやすく、地域の課題を共有でき、独居の方を支える地域の支援体制を構築することができた。



上記事例について検討会を行った。いくつかある課題の中で「本人の思いと地域の強みをどう結び付けるか」という課題が抽出され、地域ケア会議の開催が必要とされた。

こうした地域住民を巻き込んだ地域ケア会議により、上記の「地域の強み」を把握することができ、アプローチの方向性が見えてきた。

結果、近隣住民、寺の住職の支援を確認することができ、介護保険サービス、地域支援のそれぞれの役割を確認した。また、連絡網の作成により、地域を交えた支援体制の構築につながった。